

# 会 議 録

## ぎふ清流国体恵那市実行委員会 第2回宿泊衛生専門委員会

日 時 平成22年11月26日(金)

開会：午後1時30分

閉会：午後4時45分

場 所 まきがね公園 会議室

出席者 ◎近藤良三 ○小椋一郎 伊藤佳子 橋本典明 神尾寛和 光岡郁雄 太田

明伯 山田浩 額瀨誉資年(代理) 堀恒夫 大塩康彦

事務局 西部良治(実行委員会事務局長) 小木曾弘康(事務局次長) 松村和佳(課  
長補佐) 加藤友美 平林恵明 大島聡

## 1. 開会

皆様、こんにちは。ただいまから第2回宿泊・衛生専門委員会を開催させていただきます。私、国体実行委員会事務局長であります西部と申します。よろしくお願ひいたします。いよいよ国体リハーサル大会ということで1月にはスピードスケート大会がせまってまいりました。もう、実際にやらなくてはならないということで、先催市等の事例を参考にしながら、どういうふうにやっていくか、いろいろ案を立てておりますが、皆様のご支援をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 2. あいさつ

### ○事務局

ありがとうございます。続きまして、当委員会の委員長であります、近藤委員長さんから、ごあいさついただきます。

### ○委員長

皆さんこんにちは。大変お忙しい時間帯にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

千葉のほうへ見学に行っていて、本当にご苦労さまでございます。いよいよ国体リハーサル大会が始まります。よろしくお願ひいたします。

### ○事務局

ありがとうございます。それでは、まず本日の会議の成立のご報告をさせていただきます。委員総数12名、現在、お見えになります委員さん11名で、専門委員会規定第4条第2項の規定によりまして、過半数の出席がありますので、本日の会議が成立していることを報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては、委員長をお願いいたしますので、3番の報告事項から、7番のその他まで、委員長さんの議長で、お願いいたします。

## 3. 報告事項

### ○委員長

それでは早速、3番の報告事項でございます。（1）番、スピードスケートのリハーサル大会について。

### ○事務局

最初に、ぎふ清流国体、スピードスケート競技リハーサル大会について、概要を説明いたします。

まず、この大会名ですが、「JOCジュニアオリンピックカップ第34回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会兼2011世界ジュニアスピードスケート選手権大会代表選手選考競技会」と長い名前の大会となります。

主催が財団法人の日本スケート連盟、主管としまして岐阜県スケート連盟で行います。後援としまして岐阜県、岐阜県教育委員会、財団法人岐阜県体育協会、恵那市、恵那市教育委員会。

期日は、平成23年1月12日水曜日から14日金曜日の3日間が大会となります。日程としましては、12日から大会が始まりますが、前日の11日に開会式及び抽選会、監督会議等を行います。

開会式の会場につきましては、恵那峡のグランドホテルで行う予定をしております。この日は、大会会場となりますスケート場では公式練習の時間となります。

12日から14日にかけて競技が行われます。現在、選手のエントリーを受け付けてしております。それによって組数が違ってきますが、今までの大会を見ますと、9時から競技が始まりまして夕方6時ぐらいまでかかります。

この競技は、大体参加選手の人数、過去の大会を見てみますと、エントリーした選手の数が、約200人ぐらい、コーチ、監督等で100人程度、また競技役員関係で150人、観戦者500人程度と見ております。

このJOCジュニアオリンピックカップというものは、未来のオリンピック選手を育成する大会ということで、JOCの加盟競技それぞれの各連盟の主催によって行われております。

このスピードスケートのJOCジュニアオリンピックカップは、参加の年齢制限としまして14歳以上19歳以下、これに出るにはだれでも出れるというわけではなく、スピードスケートのそれぞれ級がありまして、タイムでいきますとA級以上という、このA級というものを取得したトップレベルの選手の参加となります。

競技には、総合競技部門とスプリント競技部門があります。スプリント競技につきましては、500メートルと1,000メートル。総合競技部門は、短距離から

長いものですと、男子で3,000メートルといったような、それぞれの競技を1人1種目ということではなく、1人4種目を滑りまして、そこで順位を競うものです。

この大会自体は、世界ジュニアスピードスケート選手権大会の日本代表選考会も兼ねております。この大会で優勝、2位、3位になりますと、その次の上の大会の世界ジュニアスピードスケート大会に出場できる資格がもらえます。

この大会、歴代優勝者の中には、ことしのバンクーバーオリンピックで活躍された吉井小百合選手であるとか、小平奈緒選手、また高木美帆選手、高木美帆選手は中学2年生の時にこの大会に出て優勝されています。こういった方が、歴代の優勝者の中にはお見えです。

この大会につきまして、特に選手の宿泊に関しましては、主催であります財団法人日本スケート連盟からご指導いただきまして、この大会自体の今までのやり方と同様な形で行ってくださいということです。ぎふ清流国体のリハーサル大会ではございますが、この大会に限りまして、宿泊についてはエントリーされた選手がそれぞれ各自で宿泊先を探し、またその宿泊先から会場への移動についても、選手あるいはチームで行います。国体とその辺が違いまして、国体なんかですと、事務局のほうで配宿計画を立てたり、交通輸送を考えたりということを行います。この大会に限りましては、今言ったように選手が自分たちで行います。

#### ○委員長

続いて②、市民運動の説明をお願いします。

#### ○事務局

続きまして、JOCジュニアオリンピックカップにおける市民運動について説明させていただきます。

先ほど説明させていただきましたスケートのリハーサル大会ということで開催するこのJOCですが、この大会におきまして次のとおり市民運動を計画しております。

まず1つ目ですが、みのじのみ祭り祭りの地域の味フェスタを思い浮かべていただければイメージが近いんですが、各地域のいろいろな味を全国に発信するために、13地域に今呼びかけをしております、3日間のうちでどこか出店

しませんかと、希望を募って計画をしております。

また、次に、おもてなし汁物ということで、恵那市の味を全国へ発信するとともに、温かい汁物で、身も心も暖かく、温まっていたらこうと、おもてなし汁物を提供いたします。3日間、同じ物なのか違う物なのか、検討をしておりますが、つくっていただける団体も、地域に呼びかけて募っているところでもあります。

また、いろいろな文化の発信ということも含めまして、披露の場としてのミニステージ、そういうスペースを設けて、今、参加団体を募っているところでもあります。

次に④番ですが、地域交流広場には、①から③で説明したもの以外に、観光案内、恵那のお土産販売店、また、国体のリハーサル大会ということで、ミナモグッズのお店、そしてオフィシャルスポンサー等々が考えられます。希望者出店ブースというものもできるような格好で、それを1カ所にまとめて、地域交流広場というのをつくる計画をしております。またそこでは、無料のドリンクサービスも行う計画です。

この地域交流広場、①から④番までにつきましては、4ページに、その会場のイメージをつくらさせていただきます。スケート場の駐車場、上から2段目の位置にこういったスペースを設けまして、この図面のとおり計画をしております。

ただ、このステージにつきましては、本当のステージを設置してしまいますと、高額なお金がかかってくるということもありまして、今は平面で考えております。また、12番になっております交流スペースですが、この図面では、10メートル掛ける10メートルとなっておりますが、テントの屋根の高さを低くしてでも、少し広くできたらと思っております。たくさんの方に来ていただいたときに、暖をとったり交流ができるスペースというのは一番大切かと思っておりますので、そのように計画したいと思っております。

また、資料の3ページに戻っていただきまして、⑤のおもてなし歓迎、応援のぼり旗ですが、今、皆さん、こちらのほう、正面向かって左手のほうに、「歓迎 JOCジュニアオリンピックカップ」というのぼり旗を立ててございますが、これをこのまま立てていただいても宣伝にもなりますし、また白く余

っている部分に、地域の方や小中学生に、選手に対する応援メッセージを書いていたいただきました。

こののぼり旗、会場、それから駅、道の駅、主要な公共施設等に立てまして、選手の皆さんを励ましたり、この大会を周知させるということも含めまして、近々、掲載していきたいと思っております。

次に⑥番ですが、おもてなしフラワー、花いっぱい運動の中で、冬のおもてなし花をパンジー、ビオラといたしまして、市民と協働で、プランターのほうに植えつけを行いまして、競技会場やこれも駅等々に飾りつけ、訪れた人をおもてなししようと思っております。

また最後に、ボランティアですが、今、200名ぐらいのボランティアが集まっております。目標は恵那市民の1%に当たる500人を目標に掲げておりますが、こういったボランティア、専門用語で言いますと、競技会補助員と言いますが、このボランティアの方々と一緒に大会を盛り上げていくために、このJOCにもかかわっていただくよう、12月にボランティア説明会を予定しております。市民の力を結集して市民で盛り上げていただくような大会となるよう、今、頑張っているところでもあります。

#### ○委員長

次に③でございますが、交通・警備について。

#### ○事務局

それでは、資料の5ページですけど、交通とあと警備体制についてご説明します。

このスピードスケートのリハーサル大会、今、交流広場や競技の要綱について説明させていただいたわけですがけれども、選手、監督が訪れます。そのほかに、こういった大会を市民の皆さんで現場に来て見ていただきたい、一流の選手の滑りを見ていただきたい、そして応援していただいて、そして盛り上げていただきたいという気持ちがありまして、選手との交流あるいは人と人との交流の交流広場を設けております。

そういったところに地域の皆さん、市民の皆さん、どんどん来ていただきたいということで、シャトルバスを運行いたします。このシャトルバスは、恵那駅とスケート場を往復するもの、これは1時間に1本程度を9時から3時ぐら

いまで考えております。やはり朝の時間帯、昼の時間帯は本数をふやして、交通の便を図っていきたいと考えております。

それから、皆さん、9ページをご覧くださいと、カラー写真がございます。9ページの右側の下から2番目に、シャトルワゴンと書いております。これは10人乗りのワゴンで、千葉県を視察したときに、このワゴンが小まめに動いて非常に見学者のニーズを上手にとらえていました。いろいろ国体の視察をしてまいりましたが、このシャトルバスが非常に苦になっておりました。あまり人数が乗らないのに、ひどいときには50人乗りのバスに2人ぐらいの市民の方を乗せて運行しているようなシャトルバスを、何回も見てきました。

千葉へ行ってこのシャトルワゴンを見たとき、市の職員が運転し、本当にタイムリーにニーズに合った所へ移動していたということで、こういった形式のシャトルワゴンを3台ほどスケート場と武並駅、それからスケート場と臨時駐車場を基本にして、市の職員の運転で、9時から5時まで常時運行を一度試してみたいと考えております。

そのシャトルワゴンの乗降所ですけど、スケート場の玄関付近、それから武並駅付近、それから中部大学研修グラウンドの現地駐車場の付近です。

それから、シャトルバスですが、恵那駅の中の駅広ですね、ロータリーのところは、非常に一般の乗降客の方がお見えになって、交通の整理がなかなか難しいときもありますので、恵那駅の駅西駐車場の西側に大型バスが3台ほどとまれるスペースがございます。そこを駅の乗降所としていきたいと考えております。

それからあと、市内の小中学生に見ていただきたいということで、今、学校教育課、それから各小中学校の校長先生のほうにご協力をいただいて、小学校の低学年を除いた、全小中学生に見ていただくような計画にあります。

そうしますと、1,000人以上の小中学生が移動するわけですけど、そういった小中学生について、スクールバスあるいは委託バスで運行を考えております。

次に駐車場ですけど、駐車場はスケート場のイベントのときに用いております、中部大学の研修センターの2つの駐車場を用いまして、そして、現有の駐車場ということで対応してまいりたいと思います。先ほどのバスの一時駐車

場として、工業団地の第3期工業団地のほうをお願いするような形になるようなこともあると思いますので、応援よろしくをお願いします。

それから最後、警備ですけれども、これは2つ警備の要因がございまして、選手控えの中の防犯対応ということでの警備、それから競技運営において、ここから先は競技役員しか入れないというようなエリアがございまして、そういったエリアにあまり一般の方が入らないように、それから報道の方が入るエリアというのもございまして、また競技運営に支障がある場合もありますので、報道の方でもここまでですというようなエリアを設けたいと思います。そういうのをゾーニングと呼んでおるみたいですが、そういうゾーニングをしまして、それぞれで身分証明書、IDと言いますが、競技役員とか選手とか、競技会係員とかというのをつけまして、競技役員はここまでとかいうような警備体制をとりたいと思います。その警備体制においては、恵那市内の防犯、防災なんかを研究している防災研究会、それから防犯パトロール隊なんかのボランティアの力を借りながら、市の職員と協働して進めてまいりたいというふうに考えております。

#### ○委員長

ありがとうございました。それでは、報告事項の(2)、第65回ゆめ半島千葉国体(弓道競技)視察報告について。

#### ○事務局

第65回ゆめ半島千葉国体、弓道競技会へ行ってきましたので、その視察報告をさせていただきます。

まず、千葉国体、弓道競技会の概要についてなんですが、期日については、平成22年10月1日から4日まででした。競技会場は、千葉県立匝瑳高等学校弓道場にて近的競技、同じく匝瑳高等学校の特設に設けられました遠的弓道場にて遠的の競技を行ってまいりました。

大会の種別及び参加人員ですが、青年男子30チーム、青年女子24チーム、少年男子19チーム、少年女子19チームの合計314人です。競技会役員は215人、競技役員155人、競技補助員176人で、これは県内の高等学校9校からの補助員の方にお手伝いしていただきました。競技会補助員は88人、運営ボランティア235人、実施本部は135人ということでした。

2番の諸会議ですが、審判会議が平成22年9月30日2時より、匝瑳市立八日市場第二中学校武道館にて行われ、続きまして監督会議が3時から同じ武道館にて行われました。

視察内容につきましては、恵那市から行きました視察員は、市議会議員が5人、地域協議会4人、自治連合会4人、国体実行委員会各専門委員より2人、弓道連盟の方が21人、体育連盟が1人、事務局と行政関係者が12人で、大型バスを借りて行ってまいりました。

視察期日は大会の前日、平成22年9月30日から10月4日までです。大型バスを借りて行きましたのは、9月30日から10月1日の1泊2日です。

内容についてですが、大会運営及び競技運営、歓迎装飾、案内業務、衛生、交通警備などについて視察してまいりました。

概要については、次の8ページからの写真になります。まず最初の写真からですが、審判・監督会議を武道場で行いました。

下の写真はテント通路なんですけど、弓道ということで弓矢を持って歩きますので、雨にぬれないようにと、こういう屋根つきの通路が必要になってきます。ですので、会場内にはこのようなテント通路がつくられておりました。

隣の写真が近所の競技場です。その下が、応援席になります。遠所の競技場の写真がちょっと載っていないんですが、こちらが仮設でつくりました遠所の練習場になります。その下は、弁当の引き換え所です。大会期間中、競技役員、監督、選手の方の弁当を開催市のほうであっせんします。

9ページにいきますと、こちらは弁当の写真です。弁当は毎日、日替わりのメニューで出しております。隣の交流広場の写真ですが、こちらでは地域のおもてなしということで、地域の方のふるまい汁でありますとか、売店、フリードリンクといったものがこちらに置いてありました。隣の写真、弓道体験コーナーなんですけど、これは弓道連盟の方がボランティアでこういったコーナーを設けております。

次のシャトルワゴンですが、先ほども説明がありましたように、輸送のときに職員の方がこういったワゴンで、皆さんを駐車場から会場まで輸送しておりました。隣の写真がシャトルワゴンの乗降所になります。

下がおもてなしということで、歓迎の花、歓迎のぼり旗が会場のいたるところ

ろに設置してありました。

10ページですが、これは駅前の写真ですが、街中、駅前にのぼり旗、横断幕といったのが大会期間中は掲げてありました。駅前には観光案内ですとか弓道競技会場への案内所も設置してありました。

隣の写真は消毒液なんですけど、これはトイレや人の出入り口に、必ず1つ置いてありました。下は救護所になります。

一番下は、分別用ごみ箱が置いてありました。あと、大勢の方がいらっしゃるということで、仮設トイレも設置してありました。

○委員長

はい、ありがとうございました。

それでは、次ミナモ体操をお願いします。

#### 4. ミナモ体操

○事務局

ちょっと休息を兼ねて、せっかくですので、皆さんでミナモ体操を。

(ミナモ体操を実演)

○事務局

ありがとうございました。お疲れさまでした。

#### 5. 協議事項

○委員長

それでは、5番の協議事項に入りたいと思います。

(1)番から(4)番までありますが、どうぞよろしくをお願いします。

○事務局

では、スピードスケートリハーサル大会での弁当の手配について、説明させていただきます。

国体、リハーサル大会開催において、選手、監督など大会関係者への昼食弁当は、開催地にて準備、あっせんするのが通例ですが、今回のスピードスケートリハーサル大会、JOCジュニアオリンピック大会では、慣例により、選手、監督は各自それぞれで弁当を調達するという事になっております。ですので、今回の大会につきましては、お弁当は、大会競技役員、補助員、係員等のみに市のほうで支給するという事になります。

そのお弁当を支給するにあたりまして、1番にあるのは弁当調達業者なんです。2番に、今回の大会の弁当の支給見込み数が挙げてあります。大会前日の1月11日ですと、役員、その他、競技関係者合わせて207個、大会当日の12日から14日までは、256個ずつで、延べ1,002個のお弁当が見込まれております。

今回のお弁当の数と、また今後の国体やリハーサル大会での必要数量を見込みますと、1回300食以上の調製が可能な業者さんが必要になってきます。また、そのメニューが毎日変わるという条件も必要になってきますので、そういった条件を満たす市内の弁当業者さんですと、夏に一度調査をさせていただいてるんですが、山菜園さん、八百芳さん、民宿よしだやさんの3社のみとなっております。なるべくその市内業者さんを使っていきたいということで、リハーサル大会でのお弁当につきましてはこの3社さんをうまくこう調整しながら、お弁当を調達していきたいと考えております。

あと、お弁当の金額なんです。こちらに弓道競技での先催市の料金実績を調べて書いてあります。それぞれ、リハーサル大会では735円、国体の大会では945円となっております。この金額は、お弁当のほかに、割りばし、つまようじ、お手ふき、お茶つきで、となっておりますので、恵那市でもリハーサル大会の弁当料金は、先催市と同じく735円でどうかと考えております。

本大会の料金につきましては、日本体育協会と県の協議が必要でありまして、まだ決定はされておりませんが、多分同じ945円になるかと思っております。

○委員長

はい、それでは協議事項の2番。

○事務局

救護所での医師の配置についてですが、国体、リハーサル大会につきましては、医師または看護師を配置しなければいけないということですので、これもスケート、弓道開催の先催市での医師等の配備状況を下の欄になるんですが、調べてあります。

平成21年の1月に行われました、茅野JOCジュニアオリンピックカップですと、救急車と救急救命士の配備で、医師、看護師の配置はありませんでした。八戸の冬季国体では、看護師のみです。平成22年1月開催の、帯広JOCジュニアオリンピックカップでは、医師のみ、札幌釧路冬季国体では、医師、看護

師の配置となっております。

弓道競技ですと、平成21年6月の匝瑳市リハーサル大会では看護師、平成21年10月、新潟国体では看護師の配置、平成22年6月の山口のリハーサル大会では看護師のみ、今年行われました10月の匝瑳市の国体では、医師と看護師が配置されております。

こういった先催市の状況を参考に、今回の平成23年1月に恵那市で行われますスピードスケートのリハーサル大会につきましては、看護師、救急車、救急救命士を配置したいと考えております。

平成24年、再来年1月の冬季国体のスケートにつきましては、競技が午前中ぐらいで終わるということですので、ドクターを午前中のみ、あと看護師と救急車、救急救命士を会場に配置したいと考えております。

弓道につきましては、平成23年の6月のリハーサル大会と、平成24年の10月の本大会では、看護師のみを配置したいと考えております。

○委員長

医師会のほうで出してもらおうというか、恵那病院でだしてもらおうことはできますかね。部長さん、お願いして。

○委員

看護師だけなら……。医師までっていうのは……。恵那の医師会で交代で出してもらうにしても、これ、1日だけやないもので。4日間あるんですね。

○委員長

午前中に出れるドクターというのは、なかなか。午後ならね、午後の診療ちょっと休んで、と言うんだけど。

○事務局

土、日、月、火ですので。

○委員

これって医師をどうしても配置せないかんの。

○事務局

いや、医師か看護師ということなんですけども。

○委員

医師か看護師でも、もし大けがならもう救急車が運んでいくんだよね。どっ

ちみち治療できれへんもんで。医師がおっても一緒やと思うんやけど。

○事務局

両大会のうち、スピードスケートの本大会のみ何とかお願いできないかと。

○委員長

結局、土曜日が休みのドクターに頼みますけど。どうしてもドクターを置かないきゃいかんということなら、僕、出ますけど。

○委員

ただ、そこで治療できひんもんね。病院へ運ばなあかんもん。

○委員長

だからこの期間中、例えば市立恵那病院に整形外科の先生が当番でおっていただくとうれしいわね。

○委員

いいですかね。スケート連盟の理事長をやってますけど、普段の大会は2人でコースを分け合って滑るんですけど、国体については一度に1つのコースを8人とか10人とかで滑るもんでね、転倒の際のけがとか、あるいは一緒に転がってスケートで蹴り合ったり、あるいは滑ったときに接触したりということで、結構けがが多いんですよ、国体については。

そういうようなことで、確かに、今、言ってみえるように、そこに診療所、病院を構えてるわけやないもんですから、治療はできないと思うんですけど。そういうけがの多いスポーツでもあり、国体については特に多いということで、医師を置いていただきたいという日本スケート連盟からの要望はあります。

それで、通常のけがに限らず、ウォーミングアップ中に何かあったとか、いろいろあった時に対応ができるという、あるいはカウンセリングができる、指導ができるということで、何とか国体はですね、大体1時から1時20分ぐらいには、もう終了するもんですから、午前中だけでも、あるいはそのうちの何時間でも、アドバイスできたり、していただけたらありがたい。日本スケート連盟としてはね。

○委員長

もし、救急車で運ぶにしても、何かけが人があったときに、例えば、ドクターと市立恵那病院整形医の先生方と連携しながらやっていくと。

○事務局

当然、病院のほうで待機をしていただくということはお願いしますけど。

○委員

ただ、治療はできませんわね、確かになかなかそこでは。

○委員長

この期間中は、整形外科の先生に待機していただくように、医師会のほうから市立恵那病院の院長にお願いしておくか。まあ、そういうことで。

○事務局

そのところで、こういうような内容で、医師会長のところへお願いに一度行って見て、どうだろうという話をちょっとお決めいただければありがたいなということなんですけど。

○委員長

そういう方向で。

○事務局

それから、先ほどの11ページの弁当の手配ですけれども、これにつきましては、うちのほうの調査をして、やはりある程度の衛生水準を持ちながら300食をつくれるという業者は3社になってまいります。これも保健所さんのほうと衛生の面の配慮を指導いただいて、それからの300食という能力ですね、そういったものを考えて3社挙げましたので、この3社で対応していきたいという案ですけども、これについてもご検討いただいて、ご承認いただきたいというふうに思いますが。

○委員

これは、スケート大会も、6月の弓道も、全部この3社で？

○事務局

そうです。今後、この4大会はこの3社に絞りまして、対応を。

○委員

中身がね、この間、千葉でお弁当を食べさせていただきましたけど、特徴がなかったね、はっきり言って。だから、ああいうお弁当にしかない。

○事務局

例えば、恵那市の特産のクリなんかありますが、そういうものを1つ入れ

ると、栗の甘露煮なんかは非常に高価なものになっちゃって。なかなか値段が・・・。工夫はしていただきたいとは思いますが。

○委員

もうちょっと特色があってもという感じがいたしましたね。

○事務局

そうですね、それで地域でおばあちゃん市とか、ハンズ武並さんとか、つくってみえて、そういうお弁当も紹介していきたいというふうには考えておるんですけども、ただ数の関係と、ちょっと選定基準がありまして。

○委員

千葉も1社だけ？

○事務局

そうです。千葉の匝瑳市は、スタミナフードというところが1社。

うちは1社ではなんですので、3社ぐらいで役割分担しながら、みんなでつくっていかうかと。

○委員

本番になると、選手の分もあるが。

○委員

そうですね。1日700？

○事務局

そうですね。

○委員

700食つくれますか。

○事務局

よしだやさんは今、若い方が後を継がれて、非常に意欲的に。

八百芳さんは、通常の給食弁当のほかに、400食ぐらいは大丈夫かと。

で、八百芳さんというと、失礼ですけども、こういった写真をお持ちして、どうですかと言ったら、ああ、これよりもうちは、その値段だったらぐっといいものをつくると、そういうお答えをいただいたと。それから、山菜園さんも、各サービスエリアに弁当をかなりの量を供給しておられます。市内ではさほど目立たないんですけども、やはり観光客相手のお弁当は、かなり数をつくって

おられます。

○委員

1月はいいと思うけど、6月ですね、何かちょっと季節が季節なもので、保管とかその持ってくる時間とか。

○事務局

そうですね。これも規定にあるんですけど、国体のお弁当につきましては、必ず保冷車等で一定の温度に保ったままで持ってきていただいて、お弁当をそこでずっと保管して、お弁当の引き換えに来ましたら、そのたびに、1個ずつ出して、お渡しするというようなことになるので。

○委員

保冷車あるの。

○事務局

この3社なんですけど、確認しましたら、保冷車持っているところは、1軒もなかったんです。それもちょっと課題なので、もし、そうですね、保冷車のレンタル料は24時間で2万8,000円にもなるので市のほうでレンタルをして、お貸ししてやっていただくかということを考えております。

○事務局

735円でお茶つきで提供いただいて、その上で皆さん保冷車持ってないので、それを各社リースすると、何のためにつくってるかわからんような状況になってしまうので、そこらあたりをひとつ行政で保冷車をレンタルして、そして対応していかなきゃいかんかなど。

○委員

1月はいいんですか。

○事務局

1月はいいんです。

○委員

JOC、監督はどこで弁当を調達するんやろ。

○委員

自分で買ってみえるんですよ。

○委員

ホテルで頼むか。弁当頼むかで。どこか要望があるかもしれんけども。

○事務局

交流広場も、先ほど事務局が説明しました地域特産品の中で、おばあちゃん市だとか、それからハンズ武並に、それなりに弁当つくってみえますんで、ああいうところで選手向けに、販売弁当というのもちょっと考えていただきたい。

後ほどまた説明しますけども、その販売ブースについては、保健所さんのほうへ、出店の届出っていうんですか、そういうのを提出していきます。

○委員

去年の帯広の場合ですと、外でプレハブのハウスをつくって、そこでうどんとかカレーとか軽食を300円から400円ぐらいのものを選手、監督、コーチは、買ってました。帯広は簡単にそこだけでテント張って食べれるスペース、それだけでしたけど。茅野のときはまあまあ格好つけて、いろいろ食べれるようにしてましたので。

○委員

実際は、弁当持ってこずに、会場の中のそういうテントや屋台で買って食べるわけ？

○委員

半分はそうです。半分は弁当をどこかで買って、はい。

○委員

そのぐらい用意しとかんという困るわね。

○事務局

今、先ほどの図面にもありますとおり、地域の味の店をテント3張り分ぐらいで考えておったところなんですけど、今、ちなみに出店の関係で調べてみますと、ハンズ武並さんは3日間、出店したいという要望、それからおばあちゃん市さんも3日間の出店希望が来ております。

そのほか、おもてなし汁物としては、山岡レディースネットさんですとか、岩村食生活改善組合さんなどが今、手を挙げてきてくださっております。このほかまだ地域協議会の開催等の関係で、返事を少し待ってください、と言われている地域がかなり多くて、今後もまだ出てくることも想定されます。例えば想定される所ですと、らっせい三郷さんですとか、それから串原のグローバル

さんですとか、それから上矢作のアミールさんというところは、恐らく来るのではないかなというようなことも想定しながら、今、構えております。

その場合、テントが足りなければちょっと張り増しするような格好も考えております。

#### ○事務局

で、その際ですが、ミズノさんとか、写真屋さんというところが⑧、⑨のところに書いてあります。これが希望者出店ブースと先ほど表現しましたが、オフィシャルのスポンサーであるということで、恐らく希望が上がるだろうと、この2つは。そういう想定のもとで書いておりますが、現時点でミズノさんは話があるようですが、写真屋さんのほうは今のところ話がない状況ということもありますし、このブースについては、若干位置を移動させながら対応ということもできるかなと考えております。

#### ○事務局

ということで、地域の五平もちだとか、地域の味、特産品を売っていただきますので、選手の方は、そこで買って食べることもできますし、それから富士産業さんのお話を。

#### ○事務局

はい。今、スケート場の食堂に入ってみえる、身障者協会から委託を受けました富士産業さんというところが今、食堂の運営をやってみえます。このJOCの大会のときには、今言った駐車場のほうのテントに移動していただいて、例えばうどんであるとか、おにぎりなんか、そういった食事のものを販売していただきたいということで、今、話を進めております。

食堂の今のスペースとしては、控え室とかそういった形のスペースとして使わせていただきたいと思いますと思っております。

スケート場で、今年やった武並町夏祭りでもそうですけど、いろいろイベント業者さんが外の所に出店されてて、食堂さんは食堂さんでいつもの食堂でやってみえましたが、どうしても人の集まるということ、食堂は営業しているにもかかわらず、結局中に入ったのが2人か3人ぐらいしか見えなかったというような状況でした。ですので同じテントのほうに固めて出店してくださるよう、今、調整をとっております。

○事務局

それと交流広場に付随して、恵那テラスさんがオープンされまして、商工観光課のほうで、恵那テラスに置いておる恵那市の特産品を提供しつつ、商工観光課のほうで販売するというようなことも取り組んでいただけるというふうに聞いております。

○事務局

はい。そういった店もたくさん用意してもらっておりますが、できるだけ地域の皆さん、市民の皆さんにたくさん参加していただかないと、選手、監督だけでは、200人、300人切りますので、そういった面で、皆さん方、市民の方のほうへこれから多く呼びかけていきたいと思っております。

ちょっと話はずれましたけれども、そういうことで、弁当のほうは、この3社に絞って考えていきたいということと、12ページですけれども、救護所での医師の対応については、冬季の国体のみですけれども、できるだけ国体ということでもありますので、医師の対応を恵那医師会のほうへ、今後、お願いをしていきたいということでございます。

○委員

ちょっといい？このスピードスケートのときなんだけど、かなり寒いとこですよね。だから、出店のその辺は、入って寒くないのか、どうなのかと。

○事務局

はい、それです、この何ページでしたか、4ページの図面に少しありますが、この中央⑩番、⑪番、⑫番というようにところに飲食スペースがあります。これは、大きなテントを張りまして、この中に机いすを配置して飲食していただくというもので、ここにさらに仮設で電気なんかも引きまして、大型のブルーヒーターという形でストーブを置いて、暖がとれるような形にします。

そしてテントというものの全部四方を囲います。

○委員

入り口とかすきま風がね。

○事務局

普通の建物と違ってやっぱりテントですので、入口とかすき間風はやっぱり入るとは思いますけど。

○委員

普通の店もそういうようにやっぱり囲うわね。

○事務局

はい、囲います。寒いと余計温かい食べ物が売れるのかなど。

○委員

ボランティアのほうは？

○事務局

登録はしていただいているんですけど、その日は平日になりますので、どうですか。ボランティアでフリードリンクのコーナーなんかやっていただけませんか。なんて話をしますと、ちょっと仕事とかで、なかなか……。とにかくフリードリンクでも常時1日、10人ぐらいのボランティアが必要ですし、いろいろなところでボランティアが必要ですから、これからもどんどん声かけていきたいと思うんですけど。今後ちょっと後半戦の追い上げで、また地域のほうにもご協力依頼もしておりますので、各方面でのご協力をお願いします。

○事務局

あと何か、教えていただくようなところがございますたら。

○事務局

駐車場のところは？

○事務局

そうですね、はい。

では、駐車場の説明でちょっと落としておりましたので、6ページになります、写真がついてございます。ちょっと6ページがページ数が入ってなくて、7ページの手前の写真ですけども、真ん中に岐阜県のクリスタルパークがあります。これは工事中の写真です。ちょっと古いんで、申しわけないです。

それで、そこにオレンジ色の枠がありまして、ここがクリスタルパークの皆さん御存じの通常の駐車場になっております。このほかに、いつもは中部大学の駐車場を借りております。

下に400メートルトラックがありますけれども、そのところにオレンジの枠がありまして、そこに80台、それから、そのオレンジの上にダイヤモンドがあつて、その下にテニスコートがあるわけですけども、そこに三角の空き地

があります。ここで80台です。

で、一番、正規の駐車場はもっと止まるんですけども、交流広場で一部使いますので、210台になります。それからその下に、30台という小さな、ここも中部大学の土地でありますけども、常時スタッフの駐車場として借りているところがあります。

これだけの駐車場で、乗用車で350台分の駐車場を確保はしておりますけれども、まだ選手のほうは今、エントリーをいただいております。ですから、どんな選手が来るかというのは、12月の22日になりませんとわかりません。だから、来会意向調査といいまして、もう選手団がわかれば、そこへアンケートして、何でお越しですか、乗用車ですか、電車ですかということが出来るんですけども、12月22日締め切りということですから、ちょっと来会意向調査は難しいんじゃないかと考えております。そうなると想定で、やはり岐阜県周辺の方で自動車で来れる、それから北海道や青森なんかですとちょっと難しいですので、そういうところは新幹線で来るだろうというようなことで想定して、駐車場の実質必要台数をはじいていきたいというふうに考えております。

それで、もしなかった場合、工業団地、第3工業団地なんかをまたお借りして、そこからシャトルを走らせなきゃならないと考えています。ですから今のこの1本のシャトル便のほかに、もう2台マイクロバスと運転手ですね、市役所の運転手の要員は確保しておきます。

それから、学校ですね、小中学生に全員に来ていただきたいということが、総務市民運動専門委員会のほうで強く要望がありましたので、それを受けまして、学校教育課、校長先生が、小学校の1、2、3年生を除いた全部の小中学生のカリキュラムの中にもう入れて考えていただいております。そうなると、真ん中の日ですけども、午前中に790名ほど、午後から800何名の子供たちが押しかける、押しかけるなんて言うと失礼ですけども、おいでいただく計算になりまして、そうなると延べ16台の55人乗りバスが、ここへ入る。

また予算面もございますので、予算面はマイクロバスチャーター代として45万用意しましたけども、今3日間をすべて委託で計算しますと、120万ぐらいのお金になります。そういった予算が今どう対応できるのかというふうな、そういった諸問題も出るわけです。そこで、どれだけスクールバスを導入してい

くかということですが、スクールバスもまた下校時に間に合わなければなりませんので、午後からはあまり使えない状態です。

ですから、午前中、西中のスクールバス2台、北中のスクールバス1台、あと山岡、上矢作は委託で進めていますので、その委託契約の範囲内でスクールバスは運行できるんですが。

というようなことで、できるだけ子供たちに見ていただきたいというのが、総務市民運動の専門委員会から出された意見ですので、できるだけ反映したいと思います。予算と物理的な面ということで、調整がつくような状況にもあります。

○委員

1年から3年生は行かないってということ？

○事務局

小学校1年生から3年生は、今後まだ2年見られる余裕がありますし、ですから今回ちょっと外してはおりますけれども。入れたほうがいいですか。

○事務局

入れると、バスの台数がまた増えるので・・・

○委員

そういう問題じゃなくて、やっぱり、こういうときしかチャンスはないでしょう、逆に言えば。見るチャンスというのが彼らには、ねえ。何年後になるかわかりませんが、チャンスを生かしてやりたいわね。

○事務局

バス委託会社さんも、通常のバスのチャーター代よりも安く抑えて、1日貸し切ると5万5,000円ぐらいでやっていただけるような話も今してるんですけども。そこに決めたわけじゃないんですが。ですが、すごいお金がかかってしまいます。

○委員

ちょっとチャンスだけ生かしてやってください。子供たちに、ね。と思いますけど。

○事務局

そこら辺までいくと、できるだけ頑張りたいと思いますが。多少物理的なキ

ヤパとか予算面とか、ちょっと。

○委員

バスは、どこへ置いておくんやろうね。

○事務局

16台のバスを上手に回しながらも、一時的な保管場所が要りますので、また第3工業団地のほうにお願いするのが一番いいんだろうというふうに思っております。

○委員

前、インターハイがあったときには、結構、駐車場がいっぱいやったんやね。

○委員

だから、あのインターハイでもそんな人が来とらんのやないかいという気がするんだけど、随分やっぱり駐車場が詰まっちゃったことがあるんですよ。だから今度、これやったら同じぐらい詰まっちゃうんじゃないかなと思うんですけどね。

選手の中でも結構遠くからワゴン車とかマイクロバスで来てましたからね。

○委員

群馬県の孺恋高校とか、あの辺は来ますわね。あと、北海道のオリンピックの養成学校の白川学園は、マイクロ1台とワンボックスを1台借りておいてくれということで予約が来てますけど。ただやっぱりこの大会は、恵那の町のホテルをできるだけとって、1区間ですので電車で行ったり来たりしてほしい、選手はね。監督と保護者だけは車で来るけど、選手たちは武並、恵那1区間ですので、来て、歩いて7、8分ですから、そういう段取りしたいということで、北海道、青森、岩手の人はほとんどそういう対応です。

だから、町の中のホテルは全部できるだけ押さえて。駅に近いところなら来ますよ。だからこの長野、群馬、栃木の辺までは、多分、マイクロなり乗用車で来ると。

それとあと、恵那峡周辺の民宿やホテルに泊まったりして。そのマイクロを借りて送り迎えしてもらって、比較的インターハイのときはよかったんですけどね。

○事務局

また、市役所の職員だけでも62名かを動員かけますので。そうすると、4人で1台乗っていても15、6台来ますし、またボランティアなんかがそれぞれ乗ってくるということになると駐車場が必要になりますし。ですから職員は職員用のシャトルバスとか、そういうのも考えていかないと。

○委員

職員なんかはJRを利用するとか。

○委員

JRですか。それはいいかもしれませんな。

○事務局

そういう、駐車場、台数をふやさないような工夫もしていきたい。

○事務局

4つある大会の一番初めの大会ですので、いろいろこう、予想しないことがどンドンどンドン出てきまして、その都度一生懸命対応していくような状況です。

○委員

ちょっといいですか。この中部大学の駐車場の80台というのは。ここから近道があるんやな。冬場は歩いてもらえるんですか。

○事務局

あります、あります。近道、真ん中の駐車場のトリムコースの部分で一応整備はされて歩けるんですけど、山の中ですし、急な階段があったりしてちょっとしたハイキングコースみたいな感じです。

○委員

夏なんか、歩いて来るのはいいけど冬はちょっと。

○事務局

はい。いずれにせよ、このため先ほどから出てますシャトルワゴンですね、ワゴンはスケート場から本当に武並の駅であるとか、例えば中部大学の上の駐車場といった、小回りがきくような形でワゴン車っていうものを今3台準備しまして。

○事務局

今ここに、赤い枠で囲まれたところがあります。ここも中部大学の用地にな

りまして、ここを通常の臨時駐車場として、国体だけじゃなくて今後スケート場の臨時駐車場にさせていただけないかという交渉を8月ぐらいからやっております。

○委員

ここ、止めれるの。

○事務局

はい。ここは割と今でもある程度は止められる状況なんですけど、碎石をしっかりと敷いて、填圧をかけて。このピンク色の半分部分が上り傾斜が強いので、その部分だけは簡易なオーバーレールをしてというようなことをさせていただきたいというような交渉をしております。で、中部大学の武並の研修センターの所長さんが非常に協力的な方で、本科ほうへ交渉していただいております。

で、許可がいただけそうなんですけども、中に自然観察エリアというのが、この三角形の四角の中に3カ所ありまして、生徒さんと先生が自然観察をここでされておるといことです。今、折中案としては、その自然観察エリアを上手に除いて駐車場をレイアウトして図面をつくってください、ということは依頼されてまして、この間その図面をつくって、届けたところなんですけども。

その自然観察エリアの扱いは今後どうなるかということで、ここを使わせていただけるのか、そして無償の貸借契約を結ぶという方向で、今、話をしております。

ここですと、自然観察エリアまで全部使っちゃうと150台、で、自然観察エリアを除くと75台ぐらいという状況で、国体を機会にここら辺がスケート場の臨時駐車場として位置づけられていければなあと。

○委員長

この写真の汁は豚汁なの。豚汁出すの。こういうのできる団体はいるの。

○事務局

はい、今、各団体を募集しておりますし、豚汁も1つの候補として上がっておりますが、恵那市の味を発信するような目的もございます。例えば千葉県なんかで言いますと、初日はその市とか県でとれた野菜だとかみそを使いました豚汁でしたし、2日目がつみれ汁、3日目がおしるこというようなメニューで

した。そういったもので恵那市でも何か展開できないかということで、今、考えております。

#### ○委員長

先日、ハーフマラソンの競技がありましたね。参加選手が、今の豚汁を楽しみに来たら、全部出ちゃって食べられなかったという苦情が結構ありましてね。中には、早い人は3杯ぐらい食べる人もあったり、地元の方がたくさんみえて、その方に、だめですよということは言えんもんで、順番に出したら、遅い方は全然食べれなかったというふうな苦情がありましたのですが。だからそこら辺は難しいところですけど。豚汁、楽しみにしてるしね。あんまり作り過ぎてもいかんし。そういう大変なことがありましたよ。

#### ○事務局

今ですが、1日800食から1,000食ぐらい、という食数で見込んでおりますが、学校の観戦の関係で、小中学生がもし、そういったものを飲まれるということになりますと、例えばその2日目ですと午前中に700、午後から800というような人が訪れてしまうと、確実に足りない状況なんです。

そういう方が逆に飲まれなくなると、選手、監督層で200名、300名という方プラス市民の方が何百名かということになると、逆に余ってしまう数字であるかなということで、今、果たしてどこまで供給対象となるかと食数も含めて、考え直しをしなければいけないと思ってるところです。

#### ○委員長

それでは、協議事項の(3)番。

#### ○事務局

協議事項の(3)番ということで、スピードスケートリハーサル大会での衛生対策についてです。

1番の競技施設についてですが、施設の出入り口、選手の控え室、トイレ、弁当の引き換え所などに、アルコールの消毒液を設置していきたいと思います。

交流広場についてですが、こちらも交流広場の出入り口、各地域の特産品売り場に、アルコール消毒液の設置。

地域の方たちに臨時で、先ほどから話が出ているんですけども、飲食店を出していただきますので、営業許可申請書を保健所のほうへ申請したいと思いま

す。

地域特産品売り場での調理従事者への検便の徹底ということで、検便検査を行って、赤痢、サルモネラ、O-157の陽性の有無を確認したいと思います。で、エプロン、三角巾、マスク、使い捨て手袋を必ず着用して、従事するというにしたいと思います。

宿泊施設についてですが、選手、監督は各チームで宿泊施設や弁当をそれぞれ調達しますので、事務局のほうでは、どちらの施設を利用するのかというのは把握できないんですが、さっきスケート競技の先生のほうからもお話が出ましたが、先生からお聞きして、宿泊の利用見込みのホテル、旅館施設を保健所のほうにお知らせしまして、衛生面とかの立入検査をしていただくように依頼をしております。

○委員長

はい、この協議事項3について、何かご意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○委員

保健所でございます。お世話になります。3番の宿泊施設でございますけど、宿泊利用見込みの施設、名簿をこの前事務局さんからいただきまして。で、すぐに立ち入りしましたので。

○事務局

ああ、もうされたのですか。

○委員

はい。で、立ち入りして詳細な検便をしたとか、そういうようなことではございませんが、各施設にお邪魔いたしまして、このパーツで当日の各店舗の日割りをして、各宿泊者の日割りをして、大会中の宿泊客がある場合を想定して、衛生にご留意されるように、と説明してまいりました。

きのうまでにいろいろ終わりましたので、とりあえず。

○委員

冬はノロウィルスだよね。

○委員

冬はノロウィルスのほうが可能性としては高いので、夏場は夏場でまた細菌

性の食中毒が心配されますけど。冬は特に乾燥しやすいのでノロウィルスが心配されますが、その点について、冬季につきましてはこちらのほうでパンフレットをお配りしてお願いしてまいりました。

○委員長

ほかに。

○委員

釧路へお邪魔したときに、開会式場のところはもう雪で、氷になっちゃって、べつたらに。で、今度、幼稚園や小学生がお見えになるときの通路の雪かき。これだけは徹底しとかなないと、転んでけがをされたらね。

選手の方はいいよね。氷の上になれておるんで。だから、雪が降ったときは本当に気をつけていただいて。

○事務局

恵那のスケート場、特に観覧席なんかも外になりますので、雪が降ってしまうと、もうそのまま残ってしまいますので、雪かきはその都度その都度行なっていくつもりです。

○委員長

ほかに。よろしいですか。

それでは、協議事項の（４）弓道リハーサル大会の宿泊業務委託（案）について。

○事務局

弓道リハーサル大会の配宿業務委託についてですが、この本国体では、選手、監督、関係者の方につきましては、宿舎のほうを県で旅行業者に委託しましてあっせんしていただくという仕組みになっております。リハーサル大会におきましては、今回のJOCのスピードスケートにつきましては、先ほどからもお話が出てるんですが、選手、監督の方たちがご自分でそれぞれ宿泊施設を予約されて、泊まれるということですので、開催市の恵那市では配宿というのはいりません。が、平成23年の6月4日から5日に開催されます弓道のリハーサル大会におきましては、開催市である恵那市のほうで配宿のあっせんをしていくということになりますので、旅行業者へ、別紙の資料になるんですけども、配宿業務の企画・提案を募集して、最も適当な旅行業者さんを選定して、配宿

の委託を行っていきたいと思っています。

企画・提案対象の企業についてですが、県内に事業所を有する第1種旅行者であります株式会社JTB、近畿日本ツーリスト株式会社を対象企業とします。

理由としましては、第1種旅行者は、本事業の対象業種である旅行業における必要十分な水準以上の企業規模、業務実行能力、人的能力を有すると考えられることから、この2社を対象としたいと思っております。

募集要項が隣の15ページ、資料1にあるんですけども、趣旨としましては、リハーサル大会の開催に向け配宿業務を依頼するに当たり、旅行者から各提案を募集、審査し、最も適当な業者を選定する。

大会の概要ですが、ぎふ清流国体弓道競技会リハーサル大会、第58回全国勤労者弓道選手権大会、期間は平成23年6月3日から5日までです。競技会場は、こちらのまきがね公園体育館に設けられます特設会場になります。

依頼予定業務の概要ですが、ぎふ清流国体弓道競技会リハーサル大会における選手、監督、役員及び視察員等の来会者の方の配宿業務になります。宿泊あつせんは、6月2日から5日までの4日間です。

提案書作成時における留意点ですが、ぎふ清流国体弓道競技会リハーサル大会において市内の宿泊施設を優先、有効に利用し、市外への広域配宿などを極力控え、企画提案書を作成すること。

募集する提案の内容なんですが、別添様式1になります業務の実施体制、過去5年間の類似大会の業務実績です。

そして、主幹事以外の立場でJVに参加した実績がある場合は、主幹事企業名及び主幹事以外の企業名を記載すること。

(3) 各依頼事項に対する具体的な実施方法、実施計画。

(4) 市内及び近隣の協定施設数（ホテル・ビジネスホテル・旅館・民宿・ペンション等形態別に記載のこと）及び協定外施設の取り扱い方針など。

(5) 課題ですが、①の本業務実施に当たっての方針、想定される課題と解決方法

② 指定の課題、入宿時の苦情対策について、大会参加者が入宿した際において、宿泊施設側とトラブルが発生した場合の具体的な対応策を示していただ

きます。

提出書類ですが、①の5（1）は、任意の様式で図式化して出させていただきます。

② 5（2）様式（1）です。

③ 5（3）～（5）の内容については、A4判の長片綴10ページ以内で、お願いしたいと思っています。

提出期限は、郵送、Eメールまたは持参により、期日はまだ決まっておりませんが、恵那市実行委員会事務局まで提出していただきまして、期日までに提出のない場合は不参加とみなします。

企画提案書の評価方法なのですが、こちらの提出書類を出していただきまして、評価視点は、業務実施体制、委託業務実績、各依頼事項に対する具体的な実施方法、実施計画、本業務実施に当たっての実施方針、入宿時の苦情対策について、市内宿泊施設への取り扱いについてです。

審査結果は、提案者に通知書により回答するということになります。

提出資料の2なのですが、過去5年間の類似大会の比較実績調査票という案を付けてあります。裏は、大会名、実施時期、開催地、宿泊取扱人員などの、今までの類似大会の特徴を書き添えて提出していただきたいと思っています。

最後に18ページになるんですが、配宿依頼業務内容です。大会名称がありまして、宿泊業務依頼内容ですが、

- ① 宿舍の選定・確保及び調整
- ② 宿舍仕入状況、客室在庫管理の報告
- ③ 宿泊要項等の検討作成業務、宿泊料金などを決めます。
- ④ 申込書様式の作成業務
- ⑤ 宿泊申込書の発送及び受付業務
- ⑥ 配宿業務及び配宿決定通知書の発送、配宿結果報告
- ⑦ 宿舍との連絡調整業務
- ⑧ 宿泊申し込みの変更・取消に係処理業務。会期中は競技会場にて対応していただきます。

⑨ 宿舍決定通知書（予約確認書）、請求書等関連書類の発送業務

- ⑩ 宿舎に関する紛議の解決
- ⑪ 宿泊料金の精算業務
- ⑫ 宿泊実績報告業務
- ⑬ その他宿泊業務全般に関することです。

配宿におきましては、本大会の配宿計画や競技団体からの要望を考慮しつつ行うこととします。

付帯事項は、宿泊施設は一定基準額以上の旅館賠償責任保険へ加入し、宿泊者に対し宿泊施設が宿泊サービスなどに誠意を持って提供するよう指導を行うこと。

業務履行上知り得た個人情報や他人に漏えいしてならないと、いうことの提案ですが、いかがでしょうか。

○委員長

どうもありがとうございました。

この協議事項の（４）番ですね。何か、ありますか。はい、どうぞ。

○委員

ほかの旅行業者は？地元の旅行業者とか。

○事務局

今までの大会の委託業者を見ますと、やはり全国的なJTBさんとか近畿日本ツーリストさんとか、あと、日本旅行さんとか、そういった大きなところがやってみえるんです。で、地元の業者さんが、こういうような大きな大会の配宿なんかをやったことがあるのかどうか・・・。

○委員

じゃあ私のほうで、ちょっといいですか。宿泊関係で、10月4日に岐阜で旅行社10人と、それから県の担当者2人と、それから県内の各地区の副理事長とか理事長が集まったの会合が25名ぐらいでありまして、今お話のようなJTBとか、来てました。JTBが5人来てましたけども、やっぱり今までの実績等から、恵那だけじゃないんですよ。

そこで一番最初に話があって、一番問題になるのは料金のことなんですね。これについては、今年度中に東京の日本体育連盟のほうで、県の案を出せば恐らく通るだろうけども、決まるのは年内だから、来春まで待ってくれと。

それから、旅行社が入ると、いわゆるマージンをとるんですよ。それが通常10%から15%、国体の場合は恐らく5%、旅行社が5%の少ないマージンでできるものだろうか、本当かななんて話が各地区でありました。

だから、1万円で泊まれば1万1,500円をいただくんことには、8,500円で果たしてできるかどうかって、そんなことまで今、話題になりました。全面的に県の旅館、ホテル組合は協力したいと、こういうときだから。そのかわり今の配宿の関係も考えて、裏切らないように、間違わないように、あんたそこはもう要らないよなんて言われるのが一番困るから。というのは恵那の旅館の総会するときもその話が出まして、過去にそういう経験があるもんですから。そういうことをやられたから、旅行社不信感みたいなものがある。今度は別だからというんで総会では頼みまして。そういう問題ありますけど、うまくいくと思えますが。どういうところを選手なり役員が泊まりたいのかと聞きましたら、ほとんど8割か9割方はビジネスホテルであると。それで駅の近くの、とおっしゃったのは、夜は近くで食べたいんですって、泊まられても。

じゃあ、困ったなって、我々の理事長、下呂の水明館なんですよ。で、うちはどうなっちゃうかなと。部屋数はあるけども。

我々もこの間、匠瑛市に行きましたけども、楽ですわ、実際。で、食事は別のところ。選手なんかは、思い切って地元の物を食べてみたいということで行かれる例が多いということで、いわゆるそういう体制のホテルというのは結構できましたから。恵那にもありますけども旅館関係はどうでしょうかということになってくると思います。

だから、恵那峡の人とも、2日ぐらい前に話したんですけども、泊まってもらうのはいいけども、じゃあ町の中まで夜動くんで、迎えに行かなきゃいかなのかなという話も出てるぐらい、何か要望に応えるにはそうせざるを得ないかなということも話題になりました。

大ざっぱに言うとそんなふうで、役員会が終わって帰ってきて、そういう傾向なんです。1人1部屋ですから。

#### ○委員

幾つかいろいろの問題点があると思うんですけど、できるだけ恵那市ということで、配宿を業者にお願いするのなら、やっぱり各々そういう条件をのん

でもらえるところで何とか決めていかないかんということ。今の10%とか15%の料金をその1人に対してですよ、取っていくということは、こっちは何%以内にして下さいということとは言えんかもしれんけど、あまりにもやり方がちょっと荒っぽいですよ。こんなことを言っちゃ申しわけないですけど、1人に対してマージン取るのが大きいものですから、青森県の八戸市はそういうようなことが非常に大き過ぎて困るのでということで、今年度は業者を入れずに進めます。

大変かもしれませんが、市のメンバーと、それからそこへ張りついた実行委員の者で何とかやろうということで、市内の宿舎を全部限定してやるということで。インターハイのときは困ったですね。ある一定の業者さんが非常にどじったもんですから。恵那でやるということで約束しておって、にもかかわらず、なかなかさっき言われたように、業者がホテルさんに、あるいは旅館さんに早く決定して何人何人ってやってくればよかったけど、旅館の方やホテルの方は待ってみえたけど、なかなか何人という制限の指定がなかったもんですから、心配ですから、もう1カ月近くになってもまだ言ってこんよということで、一般の人を入れちゃったんですね、たくさん。

だから、後から業者の方がぼっと入れようと思ったときにはもう、詰まっちゃってたんですね。したがって、土岐のほうとか、中津のほうとかで宿泊して。

例えば、北海道の釧路地区という地区だけでも40~50人、選手と監督がおったんですけど、土岐のルートインまで回されたということで、選手は電車で来て困ってましたので、僕のほうでバスとかワンボックスを貸してあげて行き来したんですけど。大きな問題点は、そういうやり方をしてしまったんですね、実際に。

それでA段階、B段階、C段階と3つに、ホテル、旅館の格差をつけて、ここで泊まるパターンは幾ら、と3つに分けて、それで学校ごととかで、Cにお願いしますとか、Bにお願いします、Aにお願いしますって申し込んだんですね。Aはどこ、と申し込んだにもかかわらず、Aは例えば蛭川のほうの民宿に行ったとか、中津川市なんですけど、そういういろんな問題点が出て大失敗でした。

その辺をですね、今度はやっぱり繰り返さないように、もし入れるんなら、

徹底的にその約束事を守っていただくということですね。僕らスケートの選手として一番に、安全に大会ができるということと、行き来も安全ということで、同じ恵那市であっても、根の上とか保古の湖周辺は、雪が降って危険なので入れないでくださいという要望出したにもかかわらず、入れたというね。で、群馬県のある先生は、運転して来たときに、雪が降って滑って、マイクロバスを湖に落としちゃったんですね。

で、もう怒って、恵那峡のほうへ変わられたようですが、この仕事は大変だと思いますけど、プロポーザルみたいにして入札委員会もきちんとして、約束もちゃんと条件つきで受けてくれたにもかかわらず、そういうむちゃくちゃでしたので、相当やっぱりこれは神経を配って、条件を出してやらんとまずいかなと。

700人とかそこらなら、恵那市内で全部十分泊まれますので、2,000人ぐらいまで泊まれますので。それをあ那时候、中津川のほうまで回されるということだね。

#### ○委員

逆の例が、ことしの夏、中津川で軟式野球大会がありまして、恵那市内のホテル、旅館を押さえたんですよ。JTBどうなんだと言ったら、いやうちのほうは知りませんと。これ、恵那市内の我々の組合のホテル、旅館は怒っちゃいました。

この4日の全体会議で、名前こそ言いませんけれども、こういうことが中津川市内でありまして、こういうふうでした、どことは言いませんと、きついこと言ってきたんですよ。下向いてましたけど、みんな。これは信用問題ですので、相当くぎ刺したから、今度はうまくいくと思います。

信用をなくしたら全然だめです。それから、マージン問題5%になると思いますけれども、国体については。それは当然、全国的にやってるし、だから今はプロポーザルになり、特に部外者を呼んでくれればいいんだけど、恐らく把握するのに大変ですしね。だから、旅館の責任で、賠償保険にも入ってたりですね。それから、飲食関係、仕出し関係、出店される方も食品衛生賠償保険に入ってる、食中毒になったとき、うちはちゃんと保険入ってますから、賠償なり訴訟になっても、弁護士費用も出ますぐらいの保険を今やってますので、食品

衛生協会で。そういうところも確認しながらやっていかないと。

入ってると思うけどな。この恵那保健所管内は、正式に入ってる方が。県では、高山の次ぐらいですから。

○事務局

フード君という保険ですね。

○委員

そうそうそう。安心フード君。

○事務局

弁当3社については、これはある程度確認します。もし入ってなかったら入っていただいて。

○委員

別の方が出店したときでも、たとえうどん1杯から豚汁でもいいから、やったときにそういうものをしっかりしていかないと、検便の問題もあるので、大事ですよ、これ。後になって100%ないなんてことは言えないから、注意してやってもらいたいと思う。お互いさまですけど。

○委員長

はい、ありがとうございました。ほかに何か。

○委員

今のこの市民の盛り上がりですけども、役員としてこうやって来ると、やはり関心は持っておりますけど、各地域に行くと、この国体というような意識がなかなか薄いというふうに思われます。これ、告知放送をもう少し利用するか、そして1日の土曜日でも日曜日でもいいですけど、今のさっきのミナモ体操を流して、みんなで踊るとか体操するとか、何かそういうようなもっと市民にPRする方法をやらないと。千葉県に行ったときも、一般の市民の方はほとんど知られんというか関心がないというか、全くそういうことを感じたんで、今から今度のリハーサルを含めて、盛り上がりを持っていかないと、市民が、おれは関係ないっというような感じになりかねんと思います。そこらあたりは、よろしくをお願いします。

○委員

旅館の関係ではないですけど、私、自治連の会長やってますけど、岐阜へ行

って話したときに、恵那ではレクスポ祭とか運動会やいろんなどで、ミナモを呼んで、PRしてますって言ったんです。それで、実行委員会もこうやって開かれてるとい話をしたら、やっぱり県の担当者2人はよくわかってまして、色々やっていただいて恵那市さんは一番ありがたい、と言ってみえました。地域によって温度差がものすごくあるようで感謝をしてみえました。ほかの高山やら岐阜市内、大垣、それからほかの地方からも来てましたけど、うちもそこまでやってないとか、しゃべってきてほかの方が驚いてました。ちょっと自慢じゃないけども、逆かもしれないですけども、まだまだ恵那市はやっていただいてるほうかなと思って。だからそれ以上にまた頑張ってくださいと。我々も頑張ります。

#### ○事務局

ちょっと話は戻りますけども、18ページの要項の中に、本当はここに1行削除しておきました。削除した項目は、委託料を無料でこの委託契約を行うという項目です。

で、県を見ますと、県全体で宿泊の委託料が7,900万円ほどかかっております。その半分は県が持ちまして、あと半分を関係市町村で案分してございまして、恵那市は50万円程度、県のほうへ、委託料を払います。

で、最終的にはJTBの共同体に入ることになるんですけども、それは、何の宿泊の委託料かと言うと、恵那市では弓道の本大会のみであります。

で、そのほか弓道のリハーサル大会と、スケートのリハーサル大会は、恵那市が個別にこういった配宿のあっせんをしなければならない。

で、県はそれだけ、7,900万かけておりますけども、これはほかの市のやり方を見ますと、無償でできます。JTBや近ツーを使って。そういうとこでやると、じゃあ近ツーとかJTBはどうするかというと、旅館の配宿、宿泊料から一定割合を取ります。で、それを5%にするのか10%にするのかということで、手数料を宿泊料に転嫁していきます。これはもう明らかです。

そうすると、やはり県さんのほうは7,900万円というのを支払っておりますので、その分、手数料に転嫁する分が割合が少なくなって5%でとどまるのかなというような感覚で、さっき話を聞かせていただいたんですけども。私どもは、じゃあできるだけ宿や旅館の方々に対して、ここにはある程度の委託料と

いうのを考えていかなければいけないのかなというふうにも思いますし、また受託業者が、こっちからも取る、こっちからも取るじゃ、これは何か受託業者に利益ばかり与えてしまうことになるし、そこら辺はどう解決していけばいいのかなというような課題を残しながら。

最終的には2月に、もう1回この委員会を開催して決定していただくことになると思うんですけども、そのような問題に対してどう対応していくか、ちょっとお知恵があったら、拝借したいなというように。

それから、本当は観光協会、それから商工会議所、そして私どもの実行委員会か何かで、配宿業務の事務局みたいなものを設置して、それで配宿業務に当たればいいと思うんですけども、私どもも兼務の中で少数の人間で国体推進を務めておりますので、なかなか配宿業務までは手が届かないというか、まあ頑張りが至らないのかもしれませんが、そのような現状であります。その後委託業務ということになってきますが、そういう観光協会あるいは商工会議所、そして実行委員会なんかで事務局をつくっていく手だてもあるかと思ってるんですが、そういった場合のいろいろな補償制度ですね、泊まっていたくためのあっせんの手抜かりの補償みたいなものですか、そういったのもいろいろ研究したりしていかなきゃならないというふうに思いますが、そういうことを考えると、ご理解いただく範囲内の中で委託というものの中で決められたらというような案を、今回お出ししたわけなんです。

ですから、その委託ということを選択した場合の委託手数料というのもまだ課題としては思っております。

#### ○委員

それを聞いたのは初めてなんですけどね。そんなことまでやるんですか。委託料を出して、驚いた。

#### ○事務局

はい。県は7,900万出して、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行なんかの共同体ですか、で、その主幹事務局がJTBというところに7,900万出ております。

その7,900万のうち、半分が県が負担しまして、そのあと半分を国体の関係市町村で案分しております。その案分は、きっと宿泊予定者数で案分しておる

と思います。それが恵那市については50万円ほど。

で、5%で手数料が済むというのは、その辺からの反映された結果じゃないかなと思っています。

#### ○委員

業界の話をしますとね、チェーン店は恵那市内の組合に入っていないです。それから、そういうチェーン店の大きいところは、岐阜県内の組合に入っていないところが多いんですね。それから、高山はあそこはぐうっと締めてあるから、そういうチェーン店のホテルでも、入らざるを得ないから入ってるんです。

恐らく、県のほうの担当者とまた旅館・ホテルの会合をやりますが、我々の組合に入っていないところは知らないよということになってくると思うんです。これは我々は、そこまでは対応できませんということになって、それを県の担当者が、その委託料を組んでどういう取り方をするかというのは、今後の問題になると思いますので、これは大変なことになると思いますよ、7,900万だから。

#### ○事務局

ごめんなさい、7,000万ですね。。私どもも、そういった意味で委託料を予算計上していきたいというふうに考えてるんですけども、ただ、受託業者が恵那市からもお金をいただく、そして旅館さんのほうからもそれなりの手数料をいただくじゃあ、何も効果がないような話になってしまいますし。

お弁当でもそうです。お弁当で旅行社さんがあっせんもしていただきますが、お弁当代のほうにその手数料を転嫁していくというような形になります。

#### ○委員

そういうことが、やっぱり参加都道府県の監督なり会計担当者がわかると、やっぱり頭に来るものでね。で、僕らも青森とか北海道へ行って宿舎に入ったときに、その宿舎の人に、普段おたく幾らですかと聞くんですよ。

うちは2食食べて7,500円でいいですよということ言われるけど、一定率で9,000円払うわけですよ。9,000円。それで9,000円を業者がはねとるわけですよ。

で、僕らは負けたで帰るわって言って、2泊して、あとは振り込んじゃうんですよ、業者に。あとは旅館に払ってくるんですよ、7,500円。10人が9,000

円ずつと払って、あとの3日間は7,500円で済ますことができるんですよ、ね。

それだけ余分にはねられとってということになってくるし、今の5%でも、話を聞いとれば要らんですよ。

だから本当にイベントもうけで、本当にいろいろやることに気がつく頭に来ることばかりなんですけど。少しでも、参加選手、都道府県に負担がかからんように、いい方法を我々考えたいなど。

○委員

事務局でやることはできるの。それって旅行業とか。

○事務局

そうなんですよ、そこらをちょっとまだ勉強しないと。事務局の事務能力という話もありますけど。

○委員

結構、旅行業法ってあってね、難しいことです。だから、例えば、今先生おっしゃったけど、1万5,000円の宿泊代で10人泊まると15万でしょう。で、クーポン券みたいなものを持ってくる。皆さんも旅行のたびにクーポンを持ってくると思うんですよ。で、どさっと今度請求は10%取ったら、それだけで電話1本で、JTBだけ頼むよっていうぐらいでクーポン持っていけば、そこで10%から15%はねられちゃう。はねられるって言い方はおかしいけど、それが今の業界なんですよ。

ひどかったときは20%までいったんですよ。それが今どんどん落ち込んでるでしょう。だから、かと言って、ああいう旅行社というのは大手が譲らんわけです。だから、小さな旅行業者がいっぱいできてますよね。恵那市内にも結構ありますよ。そこは安くするから。一番いいのは、直で申し込んじゃえばいい。

○委員

インターネットとかさ。

○委員

みんな、どうですか。インターネットでもじゃらんとか、そういうところを経由すると、じゃらんのほうでも10%取るよ。ルートインとか、スーパーホテルというホテルの直接のホームページは安くいくんです。

○委員

ただね、これも旅館のほうも、イベントがあることがわかって旅行社が先押さえちゃうでしょう。だからもうそれ、にっちもさっちもいけへんのや。旅館のほうはそれに逆らったらもう次知らんよということになっちゃうもんね。

○委員

そやね、それ怖いからね。

○委員

それで、押さえるだけ押さえといて、もう前日キャンセル、ということが多くあるらしいです。

○委員

私は岐阜へ行って話したのは、ここで言うと、恵那峡グランドホテルさんとかね、高山行っても下呂行っても、大きなホテルがいっぱいあるんですけども、県下、例えば1,000軒あったとして、そういうエージェントと契約しているところという、本当わずかなんですよ。大きい何百人泊まれるとこと契約しているところは。

だから、私のところも旅館やってますけど、契約してません。市内で旅行社と契約してるのは恐らく、湯快リゾートは変わったから、グランドホテルぐらいじゃないかな。提携旅館みたいな。だからあとは全部そういう契約してない。そういうとこ裏切って、さっき最初が私言ったように、もう急にキャンセルというような話。そういうことをやられて今回の場合頼むよということになるとこれは、相当あなたたちも覚悟要りますよぐらいのことを言っておきましたんで。

これを言っておかないと、組合員の手前どうしようもないもんだから、おそらく県下、どこの県でもこのときになって、旅行社がお前ら泊まらせてやるから、これだけ押さえとけよとやっておいて急にキャンセルとなったら、たまったもんじゃないでしょう。そういう話が、内輪の話なんですけど。

これ以上は内輪の話をしてはまずいから、やめますけど、よく聞いていただきましたから、すみません。

○委員

このリハーサル大会そのものは、400人ぐらいか、500人ぐらいのあっせんですか。2カ月ぐらい先なんだけど、ジュニア大会はどれくらい出てきてるの。

まだですか。

○委員

JOCですか。JOCは、各自で申し込まれるので、もうスケート連盟では確認はできませんけど。ほとんど、恵那で埋まっていると思います。

で、さっき言ったように、遠いところから来るものですから、このJOCの大会というのは、レベルはすごい高いんですわ、参加選手が。A級以上という、そういう線が引かれておるものですから。来る選手の大部分が長野から北なんですね。

北海道がほとんどなんですよ。だから、恵那の駅に近いところを探して、電車で行ったり来たりしたいというので。だから、町の中はほとんど押さえておると思いますけど。

それで恵那峡周辺は、ほとんど嫌がって行ってませんね、今回は。近いところで移動しようということで。武並には1つしかありませんけど、三八屋さんという施設がね。大会が恵那に決まったと同時に、佐久長聖高校と、恵那南高校の2つがぽんととれましたので。とにかく近いものですから、7、8分で行ったり来たりできるものですから。自分の競技だけ行ったり、練習だけ行ったりして帰ってきたりできるものですから。

○委員

ありがたい、スケート場のおかげでね。

○委員

そうですね。今度220～230人、多分来るとは思いますけど、その7割は、北海道なんですよ。1つの学校で30名とかの参加者がぽんとおるんですけどね。岐阜県は今のところかき集めても、今2人しかおりません。それを何とかこのシーズン中に、5人か6人まで何とかしたいんですが。レベルがそこまで高いんですよ。

○事務局

いろんな問題を含みながら、そういうことがないような手だてをとりながら、配宿委託ということで進めさせていただければというような提案なんですけど。

○委員

そら、旅行社も商売やでしょう。

○委員

そうやね。

○委員

参加県も選手も監督も言いますわね、インターハイでのことを。今でも言ってるんです。言いますので、やっぱり勉強してね。例の青森がどうやってやるか知らんですけど、配宿、職員を5,6名集めるか何かして、自分たちでやりますって言ってたですね。それはどういう方法でやるのか、よくわかりませんが。

○事務局

それじゃ、弓道につきましては、配宿はこんなような方向でということ。委託料の関係はまた精査したいと思います。スケートに関してはまた、スケート連盟のほうと相談して進めたいと思っておりますので。

○委員長

よろしくをお願いします。この協議事項、1番から4番、進めていっていいのですね。

○委員長

それでは、6番の今後の予定について。

○事務局

今後の予定についてですが、

- (1) 弁当調達要項の審議決定
- (2) 宿泊要項の審議決定
- (3) 医療救護対策要項の審議決定
- (4) 防疫・食品衛生・環境衛生対策要項の審議決定

この(1)から(4)番につきましては、今、県の国体推進局のほうで、要項のほうをまだ調整中ですので、多分2月ぐらいにまた県のほうの専門委員会のほうで決定されてくると思います。それ以後、恵那市もそれに準じまして要項を決定したいと思っております。

今回は弓道リハーサル大会の宿泊業者の決定と、弓道リハーサル大会の宿泊、弁当のしおりを決定して、また皆さんに審議していただきたいと思っております。

○事務局

スケジュールから言いますと、次回は2月の終わりぐらいに開催をさせていただきます。

で、弓道のリハーサル大会に向けて、次のステップを進まなきゃなりませんので。弓道の出場選手のほうへ、宿の配宿の紹介文書とか、お弁当の個数を調査するとかというのは、もう3月の終わりぐらいから段取りを始めないといけませんので。ですから2月の下旬にお集まりいただくようなことに。

○委員長

何かございますでしょうか、今の説明に対して。なければ、その他のほうに行きたいと思います。

## 7. その他

○委員

(スケート選手講演会PR)

## 8. 閉会

○委員長

それでは、長時間ありがとうございました。

○事務局

本当に長時間にわたりご協議いただきまして、ありがとうございました。

次回は2月の下旬ごろに開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。

寒くなっております。体にも十分気をつけていただきまして、またお帰りは交通事故等に気をつけていただき、お帰り願いたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。